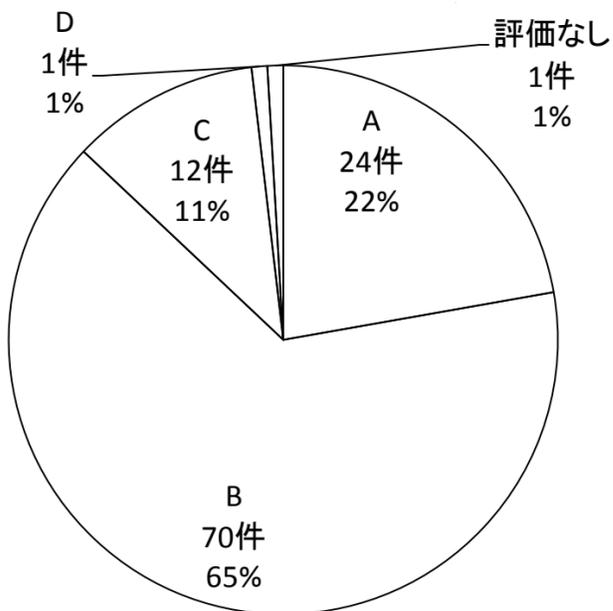


<p>【施策の方向性】</p> <p>生涯学習を通じて得た知識や経験が、自己の学びにとどまらず、社会や地域での学習活動に活かされることにより、人とひととの交流が生まれ、その交流が新たな学びや生きがいをもたらすという学習成果の循環をめざします。</p> <p>この循環の実現のため、ボランティアや指導者の育成、そしてイベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援し、市民団体やNPO法人などと連携・協働した、新たな生涯学習のしくみづくりに取り組みます。</p>	<p>【現状と課題】</p> <p>市民が主体の生涯学習社会を実現するため、「生涯学習コーディネーター入門講座」、「アクティブ市民塾」、「市民活動支援講座」などの人材育成講座のほか、手話・点字・傾聴・図書などの各種ボランティア育成講座を実施しています。また、「生涯学習フェスティバル」、「八王子市民スポーツ・レクリエーション大会」などのほか、さまざまなイベントの開催を通して、市民が日頃の成果を発表し交流する場や機会を設けています。行事の実施にあたっては、市民団体やNPO法人などが共催・協力・実行委員会などの形態で協働しています。</p> <p>今後は、市民のみなさんの知識・経験が家庭・学校・地域で活かされるよう、学んだ人とその力を必要としている人とを結び付け、活動の場や機会をより多く作ることが求められています。</p> <p>市はこれらの取組を通じて、市民の学びを支援してきましたが、今後は、市民団体やNPO法人、大学、企業などとの連携・協働をさらに進め、市民が持っている力をより一層活かした学習機会の拡充が求められます。</p>
---	--

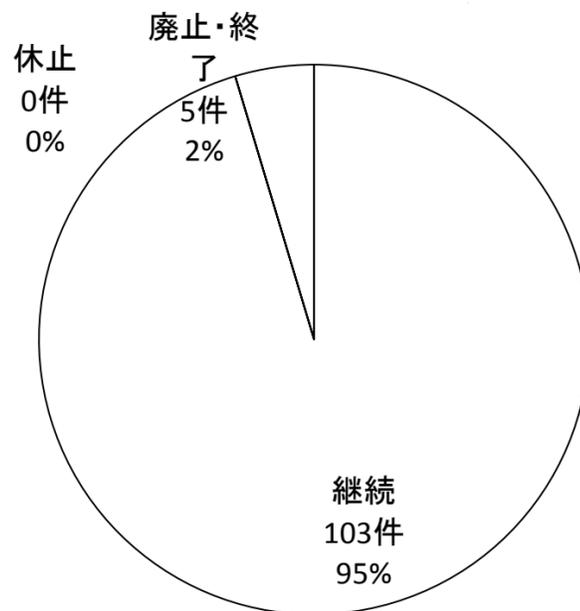
施策の展開	平成29年度の主な取り組み
<p>①人材の育成と活躍の場の提供 44件</p> <p>市民と地域が主体となり、市民との協働による生涯学習社会の実現のため、市民活動を支援・活性化させる各分野のコーディネーター・指導者の育成、ボランティアの養成を推進します。また、学んだ成果をそれぞれの地域で発揮できるよう、市と協働する市民団体の育成と支援に取り組み、市民団体の持つ力をさらに活かした連携・協働による新たな生涯学習のしくみづくりに取り組みます。</p>	<p>【374.八王子城跡ガイドボランティア】では、郷土の歴史を学んだ市民に実践の場を提供し、郷土愛の醸成を図るとともに、市民との協働による史跡の活用を行いました。29人の市民の方がボランティアとして活動し、目標を上回る1,251回ガイドしました。【375.ガイドボランティアによる自主事業】では、開館50周年記念特別展開催に際し、ガイドボランティアの提案による展示コーナーを設け、ボランティアが展示資料の選定に参画するなど特別展の内容の充実が図られました。</p> <p>また、379.他6件手話、364.365.点字、367.要約筆記、366.381.音訳などの講習会を開催し、ボランティアの養成を行いました。【380.初級手話講習会】では、参加者からは次のステップも学びたいとの声もあり、関心の高さが伺えました。</p>
<p>②学びの成果を活かす機会の充実 32件</p> <p>文化活動やスポーツ・レクリエーションなど、日頃のさまざまな学習活動の成果を発表する機会を充実させます。こうした行事が成果発表のみにとどまらず、参加した市民の新たな学習活動のきっかけとなるよう、参加者体験型・交流型の行事など学習機会の充実をめざします。</p>	<p>【394.八王子地域合同学園祭学生天国】では、100周年記念事業として、各大学等の地域活動に関するパネル展示と学生による意見発表を実施しました。本市の魅力である「学園都市八王子」を一般来場者へ広く周知をしたとともに、他大学で活動に取り組む学生の交流の機会を提供することができました。目標を上回る、33,000人が来場しました。参加団体の大学生と来場者が、体験ブースなどを通して世代を超えた交流ができました。</p> <p>【411.陸上選手権大会】では、市民体育大会と陸上選手権大会を兼ね、多くの方が日頃の練習の成果を発揮できる大会として開催しました。目標を上回る1,512名の参加がありました。日ごろから陸上に親しんでいる方だけでなく、初心者の方も同じ会場で競技することで、交流が生まれました。</p>
<p>③市民との協働による地域の活性化 32件</p> <p>市民団体、NPO法人、大学、企業、ボランティアなどと連携・協働して啓発イベントや各種のまつりなどの行事を開催します。啓発イベントでは環境、食育、消費生活、国際交流など現代的・地域的な課題に対する市民の関心を喚起し、また「八王子まつり」など大規模な地域行事を通じて、市民交流を活性化させます。</p>	<p>【454.八王子まつり】では、市制100周年記念として開催しました。前年を上回る850,000人の来場があり、地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚に寄与しました。</p> <p>【426.八王子環境フェスティバル】では、「はちおうじの環境をみる・きく・考える」をメインテーマに、新規企業も含め、産・学・公・民70のブースの出展がありました。各体験型ブースで楽しみながら環境について関心を持ってもらうきっかけづくりを行いました。目標を上回る、57,000人の来場者がありました。市民団体も出展し、来場者と地域の環境への取り組みについて話し合い交流をはかりました。</p>

平成29年度八王子市生涯学習関連事業評価シート
 基本施策3 学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進

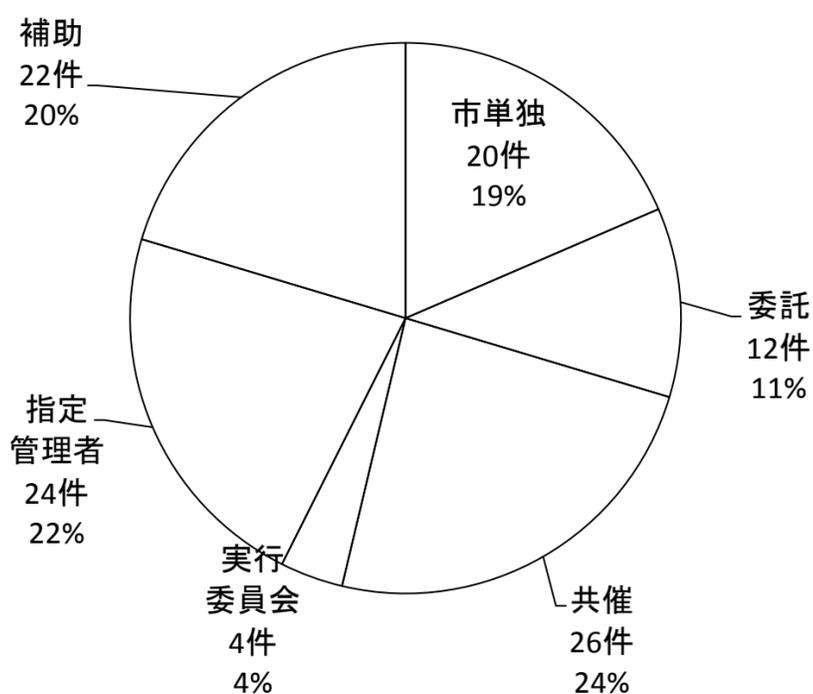
所管評価



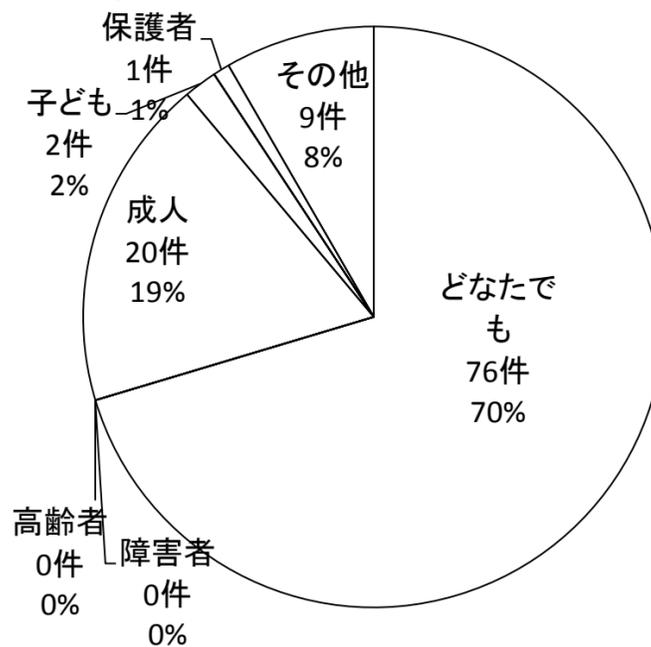
方向性



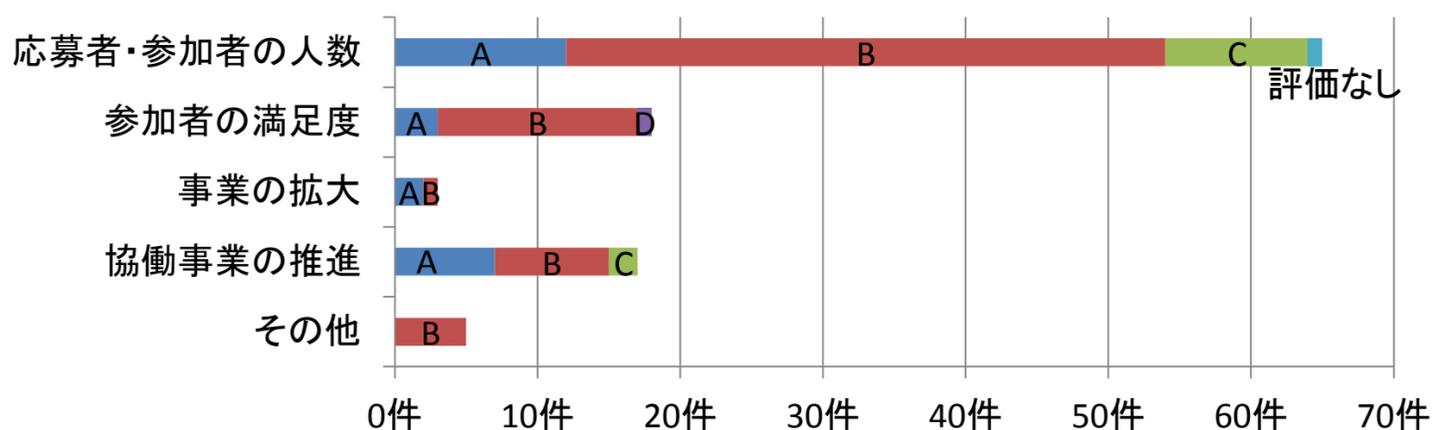
事業の実施形態



対象者



評価指標項目



生涯学習審議会評価

市単独の事業ではなく、市民と協働して行っている事業が多いのが大きな特長であり評価できる。市民が地域社会への参加意識を高めるための取り組みを、さらに続けていくことが必要であると考えます。

この基本施策は、市民がまちの主人公として活躍できるような生涯学習を推進していくために重要な分野であり、人材の育成や市民に活躍の場を提供するために、44もの事業が提供されていることは、高く評価できる。加えて、市民との協働による地域活性化の取り組みとして、高尾駒木野庭園を第2会場として実施されている【436.駒木野フェスティバル】などがある。当該事業は、学んだ成果を発表する場であると共に、地域の活性化にもつながる取り組みとして評価できる。

その一方で事業の成果を参加者数や満足度の達成状況で評価するのではなく、受講した市民がボランティアとして活躍している姿やネットワークの広がり様相についても成果として評価することが重要である。